JA 0021693 FEB 1985

(54) ACOUSTIC REPRODUCING DEVICE

(11) 60-21693 (A)

(43) 4.2.1985 (19) JP

(21) Appl. No. 58-129980

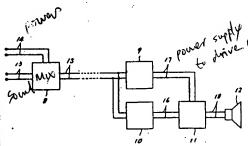
(22), 15.7.1983

(71) MATSUSHITA DENKI SANGYO K.K. (72) KAZUHIDE SATOU(2)

(51) Int. Cl4. H04R3/00

PURPOSE: To simplify maintenance by mixing a sound signal and a power supply current by a mixing means, separating them by a classifying means installed at a remote location and applying them to an acoustic instrument so as to reduce the number of long leads.

CONSTITUTION: The sound signal applied via a sound signal supply cord 13 and the power supply current applied via a power supply cord 14 are mixed by the mixing circuit 8 installed at a control room and one mixing signal is transmitted to a mixing signal supply cord 15. Said mixing signal is applied to an LPF9 and an HPF10 placed near a speaker 12 arranged at a remote location from the control room and the output of the LPF9 is applied to an acoustic device 11 via the power cord 17 as a power supply driving the acoustic device 11, and the output of the HPF10 is applied to the acoustic instrument 11 via the sound signal cord 16 as the sound signal. Thus, the number of long leads is decreased and the maintenance is simplified.



9: low pass filter, 10: high pass filter

(9 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭60-21693

⑤Int. Cl.4
H 04 R 3/00

識別記号

庁内整理番号 6733-5D **43**公開 昭和60年(1985)2月4日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

9音響再生装置

20特

爾 昭58—129980

@出

願 昭58(1983)7月15日

@発 明

者 佐藤和栄

門真市大字門真1006番地松下電

器産業株式会社内

@発 明 者 川村明久

門真市大字門真1006番地松下電

器産業株式会社内

@発 明 者 榎田葉子

門真市大字門真1006番地松下電

器産業株式会社内

⑪出 願 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

加代 理 人 弁理士 森本義弘

切 和 五

1. 発明の名称 音響刊生装置

2. 特許請求の範囲

- 2. 電級電流として、 300Hz 以下の交流電流 を用いる構成とした特許請求の範囲第1項記 数の音器再生装置。
- 3. 宿販電流として、高級電流を用いる構成と した特許請求の範囲第1項記載の音響再生装置。

4、ミキシング手段に供給される音声増刊として、 300Hz 以上の帯域を通過させるハイパスフィルターを通した信号を用いる構成とした特許 請求の範囲第1項記載の音響再生装置。

3.発明の詳報な説明

産業上の利用分野・

本発明は、大きなホールやスタジアム、保内などで、広範囲にわたって拡声を行う場合に用いる 香製再生装置に関するものである。

従来例の構成とその問題点

広範にわたって拡声を行うために、従来、第1 図に示すように、コントロール室にスピーカ駆射 用のパワーアンプ1を配置し、その出力部に接続 したコード2をスピーカ3まで延長し、再生している。4は音声倡号供給コードである。しかしこの構成では、コード2が長いため、抵抗値が大きく、スピーカ3に必要な大きさの音声倡拐を送ることは困難である。

また、 高音質な音を再生するために、 スピーカ 3 の近くに、 アリアンプやパワーアンプ等を含む

特別昭60~ 21693 (2)

発明の目的

本発明は上記従来の欠点を解消するもので、コントロール室から遠方に配置した音響機器に、電源と音声優易とを容易に供給できる音響再生機能を提供することを目的とする。

発明の構成。

上記目的を達成するため、本発明の音響再生装

なお、電源としては、50H z または60H z の商 川電源を用いても、あるいは直旋電源を用いても 良い。

また低収通過フィルター19の代わりに、電源電流成分のみ通過させることのできる符域通過形フ

図は、音響信号と電源電波とを混合するミキシング手段と、このミキシング手段がら 这く 関れた 場別では、この スピーカと、この スピーカ の 登 と、 この の 音 智 機 器 の 近 さ に 戦 優 さ れ た 始 優 さ れ で 前 記 き キ シング チ 段 と の 強 手 段 と を 接 続 し て 前 記 混合 信 号 と な 接 続 し て 前 記 混合 信 号 と な 接 続 し て 前 記 混合 信 号 と な 接 続 し て 前 記 混合 信 号 を 伝 送 す る 夢 ぬ と を 糖 え た 構 成 で あ る。

爽施例の説明

以下、本発明の一実施例について、関而に基づいて説明する。第3 図において、8 はミキシング回路、9 は 300Hz 以下の低周效成分だけを過過させる低域通過フィルター、10は音声信号のみ通過させる高域通過フィルター、11はプリアンブやパワーアンプ等を含む音響機器、12はスピーカ、13は音声信号供給コード、16は音声信号コード、15は混合信号供給コード、16は音声信号コード、17は電源コード、18は音声信号出力コードである。

コントロール室に設置されたミキシング回路8

ィルターを用いても良い。さらに、音声信号の電圧を電源部の電圧よりも小さくしておけば、低度 遊過フィルター9を設けなくても良い。

また、高域通過フィルター10の代わりに、 都域 阻止フィルターを用いても良い。

また音声信号は、電線電液と混刷しないように、300Hz 以上の帯域を通過させるハイパスフィルターを通した後に、ミキシング回路8に入力するようにしてもよい。

発明の効果

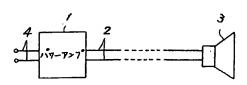
以上説明したように本発明によれば、ミキシング手段により音声信号と電源電流とを混合し、ミキシング手段から遠く離れた所に設置された分別手段で分離して音響機器に供給するようにしたので、 挺い 夢 柳の 敬を減少させることがで きい グランスの 簡略 化及びコストの 低減を 図り 得る。4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図はそれぞれ従来の音野再生装置の回路プロック図、第3図は木発明の一変施例における音響再生装置の回路プロック図である。

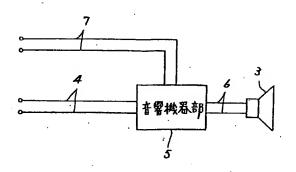
第 / 図

8 … ミキシング回路、 9 … 低成遊過フィルター、 10 … 高域通過フィルター、 11 … 音智機器、 12 … スピーカ、 15 … 混合信号供給コード

代型人 森 本 義 弘



第 2 図



第3図

